

第3回 六甲山系山田川地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成25年2月18日(月) 14:00～16:00
2. 開催場所：山田地域福祉センター 1F 会議室
3. 出席者：

【委員】

| | | |
|-------|--------------------|----------|
| 宮田 隆夫 | 神戸大学名誉教授 | 構造地質学 |
| 香西 直樹 | 六甲山自然案内人の会 代表 (欠席) | 自然(六甲全体) |
| 鷺尾 正則 | 神戸市立南五葉小学校 校長 | 自然(郷土) |
| 山口 剛 | 神戸市立君影小学校 教諭 | 郷土史 |
| 前中 忠博 | 山田川を美しくする会 代表 | 地域活動 |
| 神野 忠広 | 六甲砂防事務所事務所長 | 砂防・防災 |

【事務局】

| | |
|---------------|-----------|
| 六甲砂防事務所 | 森東課長、杉浦係長 |
| 株式会社エイト日本技術開発 | 田中、松島、守屋 |

4. 配付資料

- 議事次第
- 第3回検討委員会資料(資料①～⑤)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう! 山田川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

5. 議 事

| | | |
|------------------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 開 会 | | ・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ |
| 2. 議事 | | |
| (1) 第2回検討委員会議事要旨について | | ・事務局による説明(資料①) |
| (2) 川物語のとりまとめに向けて | | ・事務局による説明(資料②) |
| (3) 冊子に関する意見と反映について | | ・事務局による説明(資料③) |
| 意見交換 | ①不思議編について | |
| | ②素晴らしさ編について | |
| | ③安全・安心編について | |
| (4) 散策マップ・サブノートに関する意見と反映について | | ・事務局による説明(資料④) |
| 意見交換 | 散策マップ・サブノートについて | |
| (5) 活用方策について | | ・事務局による説明(資料⑤) |
| 意見交換 | 活用方策について | |
| 3. 閉 会 | | ・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ |

<議 事>

●事務所長あいさつ

●資料① 事務局説明

●質疑応答

意見なし

●資料② 事務局説明

●質疑応答

(前中委員)

西宮市などでは、不明となっているが、継続的に川物語を使っていればそのようなことはなくなるのではないかと。一度使えば終わりにならないように考えていく必要がある。

●資料③ (不思議編) 事務局説明

●意見交換

①不思議編について

(神野委員)

P1-30 の「あいな里山公園」の紹介で、「一部開園に向け整備を行っています。」を「整備を進めています。」のほうが良い。

(前中委員)

「古々山」の言い方が、「ここやま」なのか「ここやま」なのか「ふるふるやま」なのか統一すべきである。また、地元では「ここやま」と呼んでいる。

(宮田委員長)

地名辞典の近畿編があるので、確認してみても。

(宮田委員長)

断層のほうは、地元の呼び方を無視している場合がある。地元で呼ばれている呼び方が一番に優先されるので、地元での呼び方で統一するのが良い。

(宮田委員長)

P1-19 の丹波層群の写真の赤い破線を工夫したほうが良い。地層の面であるという表現を加える。

「地層が傾き変形～」とあるが、「変形」という表現はどうか。「傾いている」が良い。

また、P1-18 の六甲山地の東側が高くなっている図を示すことにより様子が分かるようになった。

(山口委員)

全体に関わることだが、「街」という言葉について、小学校で「まち」というと「町」を使う。「街」の場合は、「商店街」などガヤガヤした場所であれば良いのだが、断層の説明などで「街」を使うと違和感がある。全体をひらがなで統一すれば解決するのではないかと。

(神野委員)

私たちの住む街はひらがなの「まち」が良い。これは山田川と有馬川で用いても良いのではないかと。

(山口委員)

難しい表現やルビについて、P1-25 の「かなりの傾斜を有している」は「傾斜が急である」などに直すほうが良い。

P1-21 の「修験道場」にもルビが必要ではないかと。

(前中委員)

「成道寺」の読み方が「せいどうじ」になっているが、「じょうどうじ」の誤りである。

(鷲尾委員)

河岸段丘と海岸段丘の区分が難しいので、注釈で海岸段丘について説明しては。
(宮田委員長)

川に沿って延びている段丘を河岸段丘という。
(前中委員)

P1-11の十三ヶ村の地図だが、下谷上の範囲が正しいのか確認したほうが良い。
(神野委員)

地図の真ん中の小部あたりの白が周りの白と同じなので分かりづらい。
図面の時期を示すべきである。

●資料③（素晴らしさ編） 事務局説明

●意見交換

②素晴らしさ編について

(山口委員)

P2-8の「毒を持つ」の「持つ」をひらがなにすべき。

P2-13の「今でも」は「今も」で十分理解できる。P2-19の「現在でも」も同じである。

(神野委員)

P2-12のホタルの生態の説明はゲンジボタルが対象であるので、「ホタル」は「ゲンジボタル」にしたほうが良い。

(鷲尾委員)

水質の山田川の指標動物のような種類の紹介をして欲しかった。

(前中委員)

今の学校の指導では川へ入るなということになっている。

また、谷上小学校に向けて川の有効性などの資源学習を取り入れている。

(神野委員)

P2-13の山田川疎水の延長図を示しているが、淡河川疎水と山田川疎水が重なっているようにみえる箇所があるが並行して延びているのかどうか確認して欲しい。

(前中委員)

稲美町の資料を持ってきているので参考にしてはどうか。

(前中委員)

P2-31の新兵衛石の話の中に「お殿様へ直接訴えてたのでした。」とあるが、お殿様とは前出の古河藩主、土井大炊頭と同じ人物であるので、「お殿様」ではなく、大炊頭などにすべきである。

(山口委員)

P2-21などの「大坂」は「大阪」のほうが良いのではないか。

(神野委員)

「阪」で統一する。

(山口委員)

P2-23の櫛田菅治の「菅治」にルビを振るべきである。

●資料③（安全安心編） 事務局説明

●意見交換

③安全安心編について

(宮田委員長)

水害の写真の下に場所を示してあるので良くなった。

(山口委員)

P3-2の「記憶に新しい」はどうか。消しても良いのではないか。

(神野委員)

「近年では」などにしておくべきである。

(山口委員)

P3-3の「被害が小さかったのはなぜだろう？」に対する答えがない。

(神野委員)

被害が減ったのは、砂防事業だけでなく、河川改修もある。

(山口委員)

「詳しくは〇〇ページを参照」などを加筆しておけば良いのではないか。

(宮田委員長)

4行目の下に理由を加筆すれば良いのでは。

(神野委員)

「河川改修」という言葉が理解できるか。

(鷲尾委員)

過去に、つくしヶ丘周辺に隕石が落ちた。これは神戸隕石と呼ばれている。話題として入れてみてはどうか。

●冊子全体について

(前中委員)

珪化木に関して、谷上小学校には、四分の一程度木が残った珪化木が残っている。写真を追加してはどうか。

(山口委員)

P2-33の「総鎮守」、P2-34の「奉納相撲」にルビが必要ではないか。P2-35の「危機感を持った」の「を持った」はひらがなにすべきである。

●資料④ 事務局説明

●意見交換

(神野委員)

P13の写真を撮った場所を書かせる問題に関しては、分かりづらい。

「写真を撮った場所： 」などとしたほうが良い。

(山口委員)

P11では問題よりヒントの文字のほうが大きいので問題の方が文字が大きいほうが良い。

また、何を書かせるのかをはっきりさせるほうが良い。

(神野委員)

第3者に問題を解いてもらってはどうか。

(前中委員)

P12の問題の作りが分かりづらい。千年家と箱木家などを結ぶような、もう少し馴染みのある問題のほうが良い。

(宮田委員長)

神社がいつできたか、時代などを示してみてもどうか。

(宮田委員長)

P11ではヒントが最初に出ている。見に行ったことのある人はすぐ解ける。ヒントは最後に移動させてみてはどうか。

(山口委員)

P3は何を書いて良いのか分からない。

(宮田委員長)

P3の下の写真では特徴や名前は分からない。

先に名前を聞くのではなく、特徴を書いてもらって、その後名前を書くほうが良い。

(神野委員)

流紋岩と花こう岩の違いのような分かりやすい問題のほうが良い。

●資料⑤ 事務局説明

●意見交換

(前中委員)

冊子とサブノート、散策マップを一緒に使わなくても良いのであれば、マップを多く印刷して人の目に付く場所に常時置いて関心のある人に持って行ってもらうのはどうか。

(宮田委員長)

駅のコーナーなどに置いてはどうか。

(神野委員)

マップやサブノートは観光ポイントなどに置ける。

(前中委員)

谷上駅前活性化委員会を作って、ハイキングを毎月のように開催しているので、関心を持つ人も多と思うので、そういう人たちに利用してもらえれば良いと思う。

(宮田委員長)

問い合わせはどうするのか。

(神野委員)

六甲砂防事務所にお問い合わせをもらう。何部渡せるかのルールは未整備である。情報の発信はしていかないといけないと思っている。

(宮田委員長)

バスやタクシー会社が営利目的で集客をねらって利用することに対してはどうか。

(神野委員)

ホームページ上で公開しているので、基本的に自由に利用してもらって構わない。

(宮田委員長)

最近では、お年寄りが六甲山に登っているので、そういった人たちにも利用してもらえれば良いと思う。

(神野委員)

地元の神戸新聞などを通じて発信できるように考えている。

(前中委員)

マップは三種類あるので、各々が自分の好きなルートを行ける。

(神野委員)

ルーチンワークのように教育委員会とのコネクションを作り、年に一度程度PRできればと考えている。

(宮田委員長)

関連する学会に示しておくのと、そこで宣伝してもらえる。

(鷲尾委員)

生活、総合学会の全国大会があるので、そういった場でPRしてはどうか。

(鷲尾委員)

先生の研修でPRしてはどうか。

神小研、神中研の場で紹介してはどうか。

(山口委員)

存在を現場の教師に知ってもらうことが一番である。

また、今6年生で防災の学習があるので、地震や原発、津波などがあるが、神戸特有の砂防を取り入れても良い。

(神野委員)

六甲砂防事務所では出前講座などを行なっている。何かのきっかけで先生方に知ってもらって広まれば良い。

(鷺尾委員)

小、中学校の校長会で紹介してはどうか。

(神野委員)

全市校長会で紹介したい。

また、神戸市だけでなく西宮市、芦屋市でも同様のことを行なっていきたい。

(宮田委員長)

過去に生徒を連れて冊子を持って行ったが、アクセスが悪いので改善してもらいたい。

(神野委員)

改善していきたい。

(鷺尾委員)

湊川や生田川の川物語はないのか。

(神野委員)

神戸市内では7河川分の川物語がある。

●閉会挨拶

(神野委員)

山田川周辺をどう利用していくかについては、実際問題まだ至らぬ部分もあるので、今日いただいた意見やほかの妙法寺と有馬川のいただいた意見も踏まえて、来年度以降、積極的に関係機関等々に働きかけていきたいと思っている。我々は作成のみが目的ではなく利用してもらうことが大事なので、できるだけ皆さんに見てもらえるようにと思っている。どうもありがとうございました。